



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 中央倉庫

コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯浅 康平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理本部長 (氏名) 山田 栄作

TEL 075-313-6151

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,615	2.8	547	△18.8	627	△15.7	397	△6.3
25年3月期第2四半期	11,295	1.7	674	4.9	745	5.8	423	6.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 784百万円 (396.3%) 25年3月期第2四半期 158百万円 (△10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.88	—
25年3月期第2四半期	23.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	41,006		33,228		80.7	
25年3月期	39,915		32,702		81.6	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 33,079百万円 25年3月期 32,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	10.00	—	13.50	23.50
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当13円50銭には、大阪証券取引所市場第一部上場記念配当1円00銭を含んでおります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	2.2	1,400	5.8	1,480	3.1	855	2.5	44.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	19,064,897 株	25年3月期	19,064,897 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	40,920 株	25年3月期	40,688 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	19,024,050 株	25年3月期2Q	17,989,167 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策の効果などから円安・株高の状況が続き、輸出関連企業を中心とした業績の改善や設備投資の持ち直しに加え、一部個人消費の伸びなどにより、デフレ脱却・景気回復への動きが見られました。一方、海外におきましては、米国経済は堅調な個人消費などに支えられ、緩やかな回復基調にあります。一方、欧州におきましては、景気の下げ止まり感はあるものの、依然として低迷が続いており、引き続き先行き不透明な状況となりました。

物流業界におきましては、国内貨物輸送量は増加傾向にあり、国際貨物につきましては、円安の影響を受けて輸出貨物が増加し、輸入貨物も増加傾向となりました。一方、国内貨物の入出庫高・保管残高は依然減少傾向となり、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、ソリューション営業力の強化に努め一貫物流への取り組みを積極的に進めるとともに、顧客ニーズへの対応と業務の効率化を図るため、既存設備の改修を進めております。また、さらなる業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は11,615百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は保管料等の倉庫収入の減少と営業原価の増加等の影響により547百万円（前年同期比18.8%減）、経常利益は627百万円（前年同期比15.7%減）、四半期純利益は397百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

(セグメント別の概況)

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高及び保管残高は前年同期に比し減少しましたが、物流加工等の作業量は増加しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は2,655百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は保管料等の減少と動力光熱費や人件費等の増加があり257百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は保管外貨物の取扱いに注力し前年同期に比し増加しましたが、保管貨物の入出庫高は停滞しました。これらの結果、運送業の営業収益は6,040百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は輸送下払費や燃料費及び人件費等の増加があり396百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、通関業の取扱数量は輸入・輸出共前年同期に比し増加し、梱包業の取扱数量も、輸出貨物の取扱高の増加に伴い増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は2,956百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は166百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,091百万円増の41,006百万円となりました。これは主に、固定資産の建物及び構築物が291百万円減少しましたが、流動資産の現金及び預金が405百万円、固定資産の建設仮勘定が349百万円、投資有価証券が633百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ565百万円増の7,777百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております設備関係支払手形が231百万円、固定負債の長期借入金が415百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ526百万円増の33,228百万円となりました。これは主に、利益剰余金が140百万円、その他有価証券評価差額金が374百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント減の80.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動におけるキャッシュ・フローで969百万円の増加、投資活動におけるキャッシュ・フローで834百万円の減少、財務活動におけるキャッシュ・フローで270百万円の増加となり、当第2四半期連結会計期間末には7,394百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、969百万円と前年同期と比べ51百万円(5.1%)の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得のための支出によるものであり、834百万円と前年同期と比べ595百万円(249.4%)の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、主に、長期借入金の借入れによるものであり、270百万円と前年同期と比べ819百万円(前年同四半期は549百万円の支出)の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結業績は、営業収益におきましては予想を上回っているものの、営業原価の増加等により、営業利益・経常利益・当期純利益では予想を下回って推移しております。下期におきましては営業原価の削減等に努め、また、平成25年10月末完成の京都支店城南営業所A号倉庫の稼働が寄与すること等から、現時点においては、平成25年5月10日発表の業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,989,314	7,394,411
受取手形及び営業未収入金	3,317,832	3,197,914
貯蔵品	6,412	7,251
繰延税金資産	142,372	177,623
その他	522,653	514,491
貸倒引当金	△3,316	△2,148
流動資産合計	10,975,268	11,289,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,281,034	10,989,724
機械装置及び運搬具（純額）	684,534	765,628
土地	9,604,077	9,604,077
リース資産（純額）	36,807	27,977
建設仮勘定	415,800	765,450
その他（純額）	173,245	180,924
有形固定資産合計	22,195,498	22,333,782
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	6,407,729	7,041,235
その他	310,249	309,752
貸倒引当金	△10,405	△1,536
投資その他の資産合計	6,707,573	7,349,451
固定資産合計	28,939,772	29,716,961
資産合計	39,915,041	41,006,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,201,476	1,166,789
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	345,600	461,200
リース債務	15,137	10,959
未払法人税等	356,242	288,520
賞与引当金	241,397	184,780
役員賞与引当金	18,600	6,300
その他	879,262	919,028
流動負債合計	6,167,715	6,147,578
固定負債		
長期借入金	223,000	638,700
リース債務	23,510	18,417
繰延税金負債	593,741	777,913
退職給付引当金	95,653	101,926
その他	109,046	93,236
固定負債合計	1,044,953	1,630,193
負債合計	7,212,668	7,777,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	26,368,930	26,509,311
自己株式	△35,194	△35,388
株主資本合計	31,331,837	31,472,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,230,124	1,604,945
為替換算調整勘定	△3,167	2,598
その他の包括利益累計額合計	1,226,957	1,607,544
少数株主持分	143,577	149,163
純資産合計	32,702,372	33,228,733
負債純資産合計	39,915,041	41,006,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	11,295,542	11,615,106
営業原価	10,309,016	10,777,921
営業総利益	986,525	837,185
販売費及び一般管理費	311,721	289,228
営業利益	674,804	547,956
営業外収益		
受取利息	389	387
受取配当金	68,620	72,225
社宅使用料	5,451	5,839
持分法による投資利益	9,140	14,343
その他	12,165	12,937
営業外収益合計	95,767	105,734
営業外費用		
支払利息	23,780	22,270
その他	1,727	3,653
営業外費用合計	25,507	25,923
経常利益	745,064	627,767
特別利益		
固定資産売却益	2,261	11,942
特別利益合計	2,261	11,942
特別損失		
固定資産除却損	28,456	3,658
固定資産売却損	71	109
投資有価証券評価損	20,918	—
その他	1,937	—
特別損失合計	51,383	3,768
税金等調整前四半期純利益	695,942	635,941
法人税、住民税及び事業税	294,249	283,461
法人税等調整額	△27,654	△48,701
法人税等合計	266,594	234,760
少数株主損益調整前四半期純利益	429,347	401,181
少数株主利益	5,357	3,973
四半期純利益	423,990	397,207

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	429,347	401,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271,949	377,189
持分法適用会社に対する持分相当額	610	5,765
その他の包括利益合計	△271,338	382,955
四半期包括利益	158,008	784,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,030	777,794
少数株主に係る四半期包括利益	4,978	6,341

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	695,942	635,941
減価償却費	571,758	550,607
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,024	△10,036
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,837	△56,617
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,420	△12,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,466	6,272
受取利息及び受取配当金	△69,010	△72,613
支払利息	23,780	22,270
持分法による投資損益 (△は益)	△9,140	△14,343
為替差損益 (△は益)	102	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	20,918	—
固定資産除却損	25,526	3,658
固定資産売却損益 (△は益)	△2,189	△11,833
営業債権の増減額 (△は増加)	△1,022	119,918
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△941	△839
その他の資産の増減額 (△は増加)	△26,446	17,494
営業債務の増減額 (△は減少)	△56,755	△34,686
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,841	△8,903
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2,425	131,356
小計	1,180,847	1,265,345
利息及び配当金の受取額	72,261	75,864
利息の支払額	△22,514	△22,912
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△209,684	△349,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020,909	969,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△243,667	△807,498
有形固定資産の売却による収入	3,631	23,403
投資有価証券の取得による支出	—	△49,991
その他	1,301	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,734	△834,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	740,000
長期借入金の返済による支出	△314,300	△208,700
リース債務の返済による支出	△9,497	△9,271
自己株式の取得による支出	△26	△193
配当金の支払額	△224,540	△250,911
少数株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△549,120	270,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	232,953	405,096
現金及び現金同等物の期首残高	5,738,931	6,989,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,971,885	7,394,411

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物 取扱業 (千円)	計 (千円)		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,700,250	5,824,489	2,770,803	11,295,542	—	11,295,542
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	17,585	16,150	—	33,735	△33,735	—
計	2,717,835	5,840,639	2,770,803	11,329,277	△33,735	11,295,542
セグメント利益	359,638	443,025	165,708	968,373	△293,568	674,804

(注) 1. セグメント利益の調整額△293,568千円には、セグメント間取引消去6千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△293,574千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物 取扱業 (千円)	計 (千円)		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,640,595	6,018,445	2,956,064	11,615,106	—	11,615,106
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	15,382	22,048	—	37,430	△37,430	—
計	2,655,977	6,040,493	2,956,064	11,652,536	△37,430	11,615,106
セグメント利益	257,659	396,195	166,428	820,284	△272,328	547,956

(注) 1. セグメント利益の調整額△272,328千円には、セグメント間取引消去△34千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△272,294千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。